

代表者名	岡嶋 正雄	所管部課名	建設交通部建設交通政策課
所在地	秋田市土崎港西1-12-6	設立年月日	昭和45年 4月21日

**【沿革及び県の出資理由】**

秋田県が開発した秋田湾臨海工業地帯に進出した企業の貨物輸送を目的に地方鉄道として、昭和45年4月に当時の国鉄、秋田県及び進出企業の出資により設立されたものである。

**【出資者】(17年度当初)**

(千円、%)

区分	団体数	出資額	構成比
秋田県	1	180,000	36.0
市町村	0	0	0.0
その他	7	320,000	64.0
計	8	500,000	100.0

**【事業】**

**主たる業務**

貨物鉄道輸送。  
JR貨物(株)から受託した貨車入換業務及び貨車検修業務。

**事業実績**

(百万円、千トン)

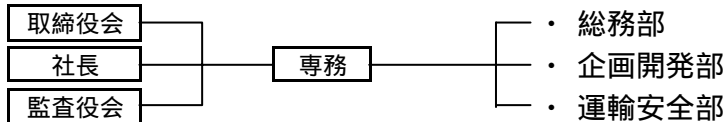
事業名等	14年度	15年度	16年度
貨物運輸収入	273	274	244
貨物輸送量	438	427	367

**16年度事業概要及び17年度事業計画・目標**

輸送量は、硫酸発送工場での生産トラブル等により、前年度より60千トン減少し367千トンとなりました。営業収益は、前年実績を25百万円下回る357百万円となりました。経費の節減に努めると共に、安全輸送のための軌道整備や踏切設備の更新等実施した結果、当期の営業損失は前年度より17百万円悪化し22百万円となりました。17年度につきましては、安全安定輸送に一層の努力をし、荷主様の信頼を磐石なものにし、増送につとめる。

**【組織】**

**運営機構**



**役員数**

(人)

	取締役	監査役
常勤	3	1
内、県OB	1	
非常勤	7	2
内、県OB		
内、県職員	1	
計	10	3
内、県関係者	2	0

**職員数**

(人)

	人数	備考
正職員	31	平均年齢 48.7歳
内、県OB	0	
出向職員	9	
内、県職員	0	
臨時・嘱託	6	平均勤続年数 27.3年
内、県OB	0	
計	46	
内、県関係者	0	

**【財務】**

**損益状況(16年度)**

(千円)

	金額
経常収入 A	362,295
受託事業収入	34,623
補助金収入	
自主事業収入	323,053
運用益収入	
その他	4,619
経常支出 B	380,288
人件費	281,982
その他	98,306
経常損益 C = A - B	-17,993
経常外収入等	1,348
経常外支出等	6,969
当期損益	-23,614

(百万円)

県の損失補償額	県の債務保証額
-	-

**財務状況(16年度末)**

(千円、%)

	金額	構成比
流動資産	328,423	37.1
固定資産	557,639	62.9
資産計	886,062	100.0
流動負債	127,260	14.4
短期借入金		0.0
固定負債		0.0
長期借入金		0.0
引当金等	205,444	23.2
負債計	332,704	37.5
資本金	500,000	56.4
剰余金等	53,358	6.0
資本計	553,358	62.5
負債・資本計	886,062	100.0

(千円 %)

退職給与引当状況	要支給額	引当額	引当率
	288,692	155,074	100.0%

他に中小企業退職共済制度 133,618千円

**【県の財政支出】**

(千円)

	14年度	15年度	16年度	対象事業概要等
補助金	-	-	-	
委託費	-	-	-	
貸付残高	-	-	-	

## 1 主な経営指標

項目		単位	14年度	15年度	16年度	14-15増減	15-16増減
健全性	自己資本比率	%	66.84	63.51	62.45	3.33	1.06
	借入金依存率	%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	流動比率	%	264.11	205.81	258.07	58.30	52.26
収益性	剰余金(欠損金)	千円	60,523	52,403	52,482	8,120	79
	経常利益率	%	0.24	0.02	4.97	0.27	4.94
	総資本利益率	%	0.11	0.01	2.03	0.12	2.02
発展性	経常収入額	千円	381,156	387,748	362,295	6,592	25,453
効率性	総資本回転率		0.45	0.45	0.41	0.01	0.04
	職員1人当たり経常収入	千円	7,941	7,913	6,967	28	946
	人件費比率	%	70.76	71.99	77.83	1.22	5.85

## 2 経営目標の達成状況

経営目標			14年度	15年度	16年度	17年度
経営改善指標	経常利益(千円)	目標		1,000	1,000	5,000
		実績	931	93	17,993	
経営改善指標	管理費比率(%)	目標		18	18	18
		実績	18	19	18	
事業成果指標	輸送量(千トン)	目標		459	445	403
		実績	438	427	367	
事業成果指標	運転事故件数(件)	目標		0	0	0
		実績	0	0	0	

## 3 経営状況及び課題、経営目標の達成状況についての自己評価

貨物取扱量は前期の86%に減少し、厳しい経営状況になっている。  
より一層管理費の削減を図ると共に新規貨物の開拓に努める。  
また、老朽化してきている鉄道設備等の改修を年次計画で進める。

## 4 総合評価

概ね安定した経営内容

← 層の努力を要する経営内容

取扱数量の減少は、荷主側の事故等によるものではあるが、新規取扱貨物の拡大は急務である。  
鉄道施設の老朽化に対する計画的な改修と、安全輸送のために機関士等の人員計画も重要である。